

月刊 やちまなこ

2020.10.15 発行

No.275

10月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

朝の気温が氷点下近くまで下がり、日中との気温差が大きくなってきた。紅葉も進み、風が吹くたび地面に葉が舞い降りる。既に越冬のため飛来したヒシクイの群れの中にオオハクチョウの姿が見えた。羽繕いのあと長旅の疲れか、そのまま暫くの間、眠りにについていた。タンチョウが飛ぶヨシ原も一面茶色く染まり、時折吹く風にかさかさとは聞こえる音はまるで晩秋の訪れを告げているようだ。湿原に霜が降りる頃には、阿寒や知床の峰々が白く彩られる日も近い。



塘路フィールドノート【9/15~10/14】

【野鳥】

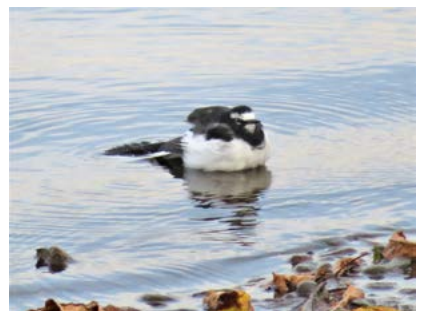
秋本番を迎え、塘路湖やシラルトロ湖に水鳥たちが続々と飛来してきています。一方、賑わいを増す湖面とは対照的に散策道沿いでは徐々に夏鳥たちの気配が感じられなくなり、夏の賑やかさが懐かしく感じられます。



(オオ) ヒシクイ (シラルトロ湖)
北側の水域を通り過ぎて行った大群。ヒシを食べるヒシクイの姿は秋の風物詩です



キンクロハジロ (塘路湖)
塘路湖ではやや少数派のカモ。この個体は♀で、ちょうど眠りから目覚めたところ



セグロセキレイ (塘路湖畔)
センター前の湖岸で水浴びをしているところ。毎年秋になると湖畔に姿を現します



ヒドリガモ (塘路湖)
オシドリ群れに混っていた♀。センター西側の水深の浅いエリアでよく見かけます



ヨシガモ (塘路湖)
マガモ群れの近くにいた二羽。微妙なところですが、おそらく二羽ともエクリプス



(ミヤマ) カケス (塘路湖畔)
湖畔に秋の到来を告げる鳥の一つ。芝生に落ちた木の実を夢中でついばんでいました

【植物】

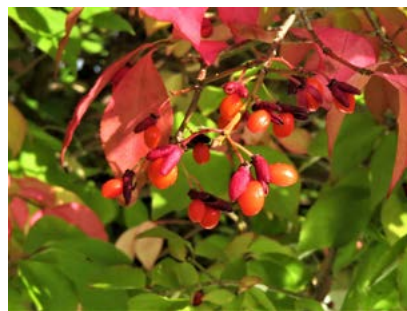
花のシーズンが終わりを迎え、現在、塘路湖畔は実りの季節の真っ最中。湖畔の樹々を見上げると、瑞々しい果実がたくさん実っていることに気づきます。赤い実、青い実、黒い実、色とりどりの果実が湖畔の秋を彩ります。



エゾノコリンゴ (サルルン沼周辺)
秋らしい真っ赤な実。今年は花はたくさん咲きましたが、実付きは意外に普通でした



ナナカマド (シラルトロ湖畔)
今年は豊作のようです。青い阿寒の山並みと真っ赤な実のコントラストが印象的でした



ニシキギ (塘路湖畔)
センター前の木に小さな赤い実がたくさん生っています。紅葉もだいぶ進んできました



オニグルミ (塘路湖畔)
湖畔でたくさん見られます。運がよければ、この実を食べに来たエゾリスに出会うことも



ミズナラ (サルルン沼周辺)
まだ落ちずに残っていたドングリ。今年はこの3年の中では、最も不作の年のように



ヤマブドウ (サルルン沼周辺)
赤く色付く葉の陰で果実が黒く熟していました。今年はかなり実付きがいいようです

【昆虫】

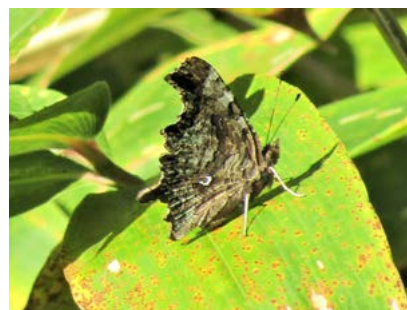
昆虫たちの季節もいよいよ最終盤。こここのところ、肌寒い日が増えてきて、チョウやトンボの姿を見かける機会は徐々に少なくなってきましたが、晴れて暖かい日には、まだまだ元気に湖畔を飛び回る姿が見られます。



ルリボシヤンマ (塘路湖畔)
目の前のササの葉に止まった。よく見ると、左右の前翅がボロボロになっています



クジャクチョウ (塘路湖畔)
春は少なかった印象ですが、ここに来て度々見かけます。鮮やかな翅色が秋に映えます



シータテハ (塘路湖畔)
塘路湖畔では稀なチョウ。ちょうど翅を立てて、翅裏の「C」の字を見せてくれました

◎塘路湖周辺で見られる赤トンボたち

今年も赤トンボの季節がやってきました。紅葉や植物の赤い実とともに真っ赤な秋を演出する赤トンボは、秋の風景を構成する重要なピースで、赤トンボの仲間たちが湖畔を飛び交う光景を見ていると、深まりつつある秋を実感します。

今年例年塘路湖周辺で最もよく見られるマユタテアカネや、翅の橙褐色が印象的なキトンボが多く見られた一方、アキアカネは昨年同様やや少ない気がします。

赤トンボの仲間たちは、例年冬の気配を感じ始める11月上旬頃まで見られます。



アキアカネ



キトンボ



マユタテアカネ



ノシメトンボ

〇徐々に色鮮やかに

センター対岸の山並みが徐々に色付いてきました。今秋の紅葉・黄葉はややゆっくりめで、このペースでいくと、最も鮮やかな色彩が見られるのは10月最終週辺りになりそうです。



左：9月29日
まだほとんど緑の状態
中：10月5日
黄色が目立ち始める
右：10月13日
赤が少しずつ目立ち始める

【開館時間変更のお知らせ】

11月1日（日）よりセンターの開館時間が下記のとおり変更となります。

○10：00～17：00 → **10：00～16：00**（令和3年3月31日まで）

11月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

初冬のキノコ講座

〔日 時〕 11月7日（土）10時～12時

〔定 員・参加料〕 10名 無料

〔開催場所〕 塘路湖エコミュージアムセンター

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

クリスマスリースを作ろう

〔日 時〕 11月21日（土）13時～15時

〔定 員・参加料〕 10名 500円（材料費）

〔開催場所〕 塘路湖エコミュージアムセンター

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

初冬の植物を見に行こう

〔日 時〕 11月15日（日）10時～12時

〔定 員・参加料〕 10名 無料

〔開催場所〕 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター（0154-65-2323）まで

クリスマスリースを作ろう

〔日 時〕 11月29日（日）13時～15時

〔定 員・参加料〕 10名 500円（材料費）

〔開催場所〕 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

◆日出・日入時間 9/15(5:01,17:33).9/30(5:18,17:06).10/14(5:34,16:42)

～編集後記～

■日没も早くなり、帰宅する頃には車のヘッドライトを点けるようになりましたが、この時期は対向車のライトも加わり、道路状況も分かりづらい条件となりますが、先日電光石火のごとくエゾシカが目の前に現れ、ブレーキを踏む間もなくフロント部分にダメージを受けてしまいました。路上にはエゾシカに驚いて、ブレーキをかけた際のタイヤ痕が複数あるのを確認しながら注意していたのに避けることが出来ませんでした。スピードダウンや車間距離に注意しても事故は起きますので、あとは運任せでしょうか？

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL：015-487-3003 FAX：015-487-3004

E-mail：emc@hokkai.or.jp

インスタグラム  torokoemc

開館時間：10：00～17：00

（11～3月：16：00まで）

休館日：毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料